令和８年６月１８・１９日
高体連バドミントン専門部　審判部

# 令和８年度バドミントンインターハイ県予選（団体戦）　競技上の注意事項

① 試合順序は、**複１・複２・単１・単２・単３**で行い、単１の選手が複１・2、単２・３を兼ねることはできません。１対抗戦**３マッチ先取**で行います。**すべての試合15点で行います。**
すべての試合において**次の試合まで15分を空けます**。
ベンチは**主審からコートをみて**トーナメント番号の**若番が右側、後番が左側**に座ってください。

② 各試合のシャトルは**「数個」**、本部からの支給とします。超過分については各校の相対で補給をお願いします。シャトルの温度番号は**「３番」**です。

③ 各対抗戦の**マッチごとに２分間の練習時間**を設定します。ただし、**１日目は練習時間を設けません。**主審は時間の計測を行ってください。

④ 試合（マッチ）中のシャトルの交換、水分補給、汗ふきなどは必ず**主審の許可**を得てください。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとします。容器は倒れてもこぼれないフタ付ボトルを使用し、**自分のバック**に入れてください。**ベンチでのタオル、水分補給は認めないため、必ず主審横にバックを置いてください。**

⑤ 各コートの１試合目は本部からの指定で行います。本部のコールをよく確認してください。２試合目以降からは前試合の**敗者校が主審、線審、サービスジャッジ兼得点表示の計４名**を出して実施してください。ルールのおぼつかない１年生が審判をすることのないようにお願いします。

**サービスジャッジは，ポストにコート面から1.15mのところにマークがあります。そのマークを基準にコート面から1.15mのところに水平面をイメージし，判定してください。**

スコアボードは本部から運ばれますので**敗者校はそのままコートに残り**、搬入を待ってください。
**ベスト８に残った学校**は、敗退した場合でも審判があるので。**最後まで帰らずに待機**していてください。

⑥ 線審はアウトのコール、シグナルをきちんと行ってください。必ず**大会出場者もしくは、ルール理解者**が審判を行うようにしてください。得点板の**マッチカウント**は**選手にあわせて表示**します。

⑦ **応援は着席のうえ拍手、手拍子、声援、掛け声のみとし、応援歌は禁止とする。**また、ベンチ付近での立ち上がっての声援は行わないでください。

⑧ インターバル中、競技区域付近でのアドバイスは、**監督・コーチなど同時に２名まで**です。

⑨ 本大会は、２０２６年度日本バドミントン協会競技規則に準じて進行します。
サービスのフォルトはゲーム開始当初からとってください。
ゲーム内、**８点**の際の**６０秒**のインターバルを主審は必ずコールし、プレイヤーも確認してください。
ゲーム間は**１２０秒**です。両者とも残り**２０秒**でコートインをお願いします。
ストップウォッチを必ず使用してください。遅れた場合はフォルトとなります。

⑩ **審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。**もし判定に対し疑問がある場合には、次のサービスが為される前に**「質問」**をすることができます。ここで質問ができる者とは、**学校対抗では当該選手と監督に限ります。**必要な場合はレフェリーを呼んでください。

⑪ **以下のルール改正に伴い、以下はフォルトとなります。**
**・バドミントン競技規則第９条第１項（1）サーバーとレシーバーがそれぞれ態勢を整えた後は、両サイドともサービスを不当に遅らせてはならない。(ラケットを左右に何度も動かしている場合やレシーバーが準備ができていないことを示すために手を挙げている場合に、主審は遅延と判断した際にフォルトをコールすることができる。**

・バドミントン競技規則 第９条 サービス 第１項（５）サーバーは、スピン（回転）を加えずにシャトルを放し、ラケットで最初 にシャトルの台を打つものとする。